

生 研 2 1 0 0 6 号
令 和 3 年 5 月 2 6 日

校長・准校長 様
生物科 様

大阪府高等学校生物教育研究会
会 長 柴 原 信 彦

令和3年度大阪府高等学校生物教育研究会の総会について（案内及び依頼）

青葉の候、貴校ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃は本研究会の活動に特別のご高配をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、令和3年度の生物教育研究会の総会を下記のとおり開催いたします。つきましては、新学期早々、校務多忙のこととは存じますが、先生のご出席について、ご配慮いただきますようお願いいたします。

なお、当日は、『これからの高校生物教育を考える ～授業改善を図るために～』と題して、文部科学省 初等中等教育局 視学官 藤枝 秀樹 先生に記念講演をしていただきます。生物教員ならぜひ聴取し学んでほしい内容です。

あわせて、生物教育研究会協力会（本会OB会）の総会も開催されます。

記

1. 日時： 令和3年6月11日（金） 午後2時30分～5時00分
2. 場所： 大阪府立天王寺高校 北館3階視聴覚教室
3. 内容： I. 総会の部 （午後2時30分～午後3時00分）
 1. 開会の辞
 2. 会長挨拶
 3. 来賓挨拶 生物教育研究会協力会
 4. 議事
 - (1) 令和2年度会務報告 (2) 令和2年度会計報告
 - (3) 令和2年度実験書会計報告 (4) 令和2年度会計監査報告
 - (5) 令和3年度委員承認 (6) 令和3年度会務運営方針
 - (7) 令和3年度予算案 (8) その他
 5. 閉会の辞
 6. 諸連絡
II. 記念講演会の部（午後3時00分～午後4時30分）

講師 文部科学省 初等中等教育局 視学官 藤枝 秀樹 先生
演題：『これからの高校生物教育を考える ～授業改善を図るために～』
（次ページに講演者略歴、講演内容記載）

III. 生物教育研究会協力会 総会（午後4時40分～午後5時00分）

〈連絡先〉

大阪府高等学校生物教育研究会事務局
（府立事務局）大阪府立泉陽高等学校
理科 加藤 励

TEL：072-233-0588 FAX：072-233-6645

E-mail：reikt1974@gmail.com

（本部事務局）大阪教育大学附属高等学校池田校舎
生物科 岡本 元達

TEL：072-761-8473 FAX：072-762-1076

E-mail：gentatsu0311@gmail.com

※新型コロナウイルスの感染状況によってはオンラインのみの実施となる場合があります。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、会場での参加は先着順とし、一定数を越えた場合はオンライン（zoom）での参加とします。

参加をご希望される先生は裏面の参加確認票に必要事項を記入し、本部事務局へFax もしくはE-mailをお送りください。また、下記のQRコードからネットで申し込みいただくことも可能です。

（ネット申し込み頂けるとこちらの業務の効率化が図れるため非常に助かります）

※オンラインでの参加となった先生には前日までにURL等をお送りします

大阪府高等学校生物教育研究会 総会

「参加確認票」

ご所属 (学校名)		
おなまえ		
勤務先連絡先	住所： e-mail：	
参加方法	<input type="checkbox"/>	実地での参加のみ希望する
希望するものに	<input type="checkbox"/>	実地での参加が難しい場合はオンラインでの参加を希望する
○をつけてください	<input type="checkbox"/>	オンラインでの参加のみ希望する
私は6月11日開催、大阪府高等学校生物教育研究会総会に参加します。		
通信欄		

回答送付先 大阪教育大学附属高等学校池田校舎 生物科

岡本 元達あて

E-Mail gentatsu0311@gmail.com

または

FAX 072-762-1076



<講師の紹介>

文部科学省 初等中等教育局 視学官

藤 枝 秀 樹

(併任) 国立教育政策研究所 教育課程研究センター

研究開発部 教育課程調査官・学力調査官

<略歴>

筑波大学大学院修了後、平成 2 年から香川県立高等学校に理科教諭として勤務し、香川県教育センター主任研究員及び指導主事を経て、平成 26 年から国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官(併任：文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官)、平成 31 年 4 月から 文部科学省 初等中等教育局 視学官 として現在に至る。

この間、香川県教育委員会の教育実践優秀教員表彰、日本生物教育学会の下泉教育実践奨励賞を 2 回受賞。学習指導要領については、現行の「高等学校学習指導要領解説理科編(H21 告示)」の作成協力者として、また、新学習指導要領については、中学校学習指導要領理科(H29 告示)及び高等学校学習指導要領理科・理数(H30 告示)の編集者として携わる。

『生徒の科学する心に火をつける』をモットーとし、理科の授業づくりについて多くの先生方とともに一緒に考えていきたい。

<講演の演題>

「これからの高校生物教育を考える ～授業改善を図るために～」

<講演の要旨>

新学習指導要領に基づく教育課程が来年度の第 1 学年から年次進行でスタートします。今回の学習指導要領の改訂は高等学校にとって、たいへん大きな改革となっています。そこで、新学習指導要領改訂の背景や趣旨をもう一度おさらいするとともに、高等学校理科(特に生物)の改訂のポイントを解説し、これからの時代が求める新たな高校生物教育についてどうあるべきかを皆さんが主体的に考えることができるようなヒントを提示したいと思います。その際に、生徒の資質・能力を育成するための授業改善という視点から話をしたいと思います。その他、学習評価(観点別学習状況の評価など)についてもお話しする予定です。